



# Rebroワンポイントレッスン

作図CADとしての利用方法

2023.07.20

株式会社サンセツビ空間計画

木島 幹生

表題

図枠の設定とオブジェクトの編集方法について



Rebro

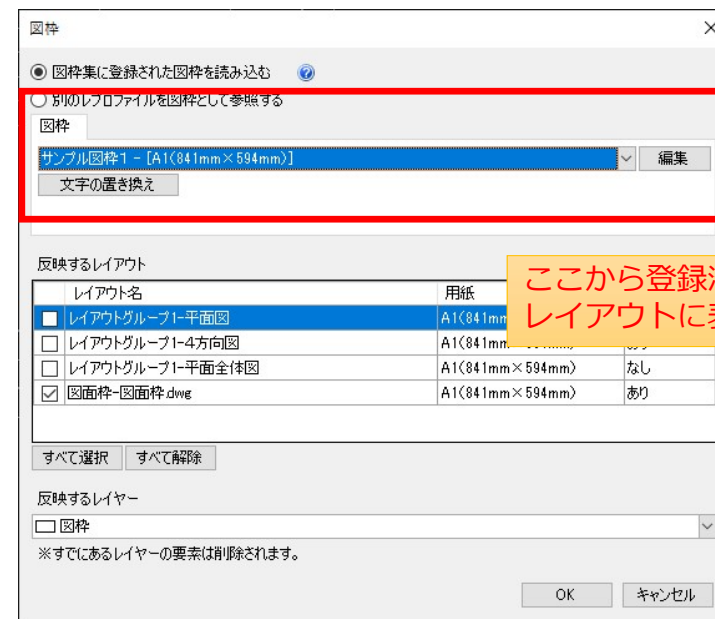
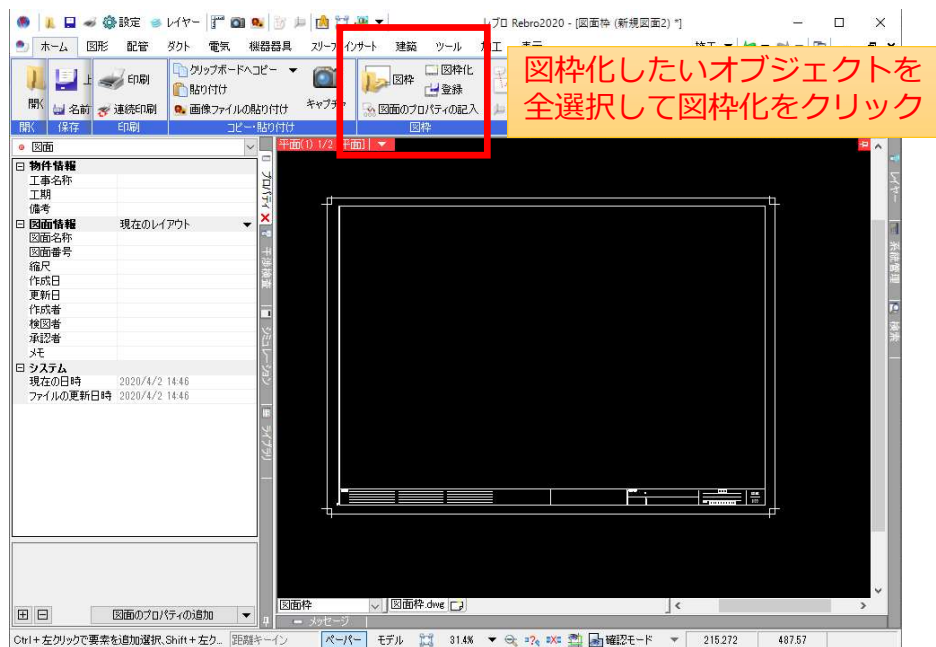
# 図枠化と登録

## 図枠の設定

STEP1  
選択して【図枠化】

STEP2  
ペーパーで編集 & 【登録】

STEP3  
【図枠】からレイアウトに書き出し

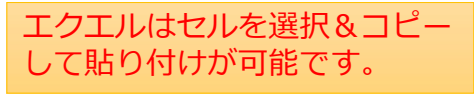


ここから登録済の図枠を選択してレイアウトに表示させます



図枠化したものはペーパー側でのみ編集できます。登録すればどのレイアウトでも図枠の書き出しが可能になります。

ペーパーの編集

[illegible]

## 冷媒管リストから 配管サイズ一覧

モデル側編集中はペーパー側の編集不可  
ペーパー側編集中はモデル側の編集不可  
※グレー反転表示されます

## 図枠の設定

CDからキャプチャした図や  
他図面のDWGファイルなど

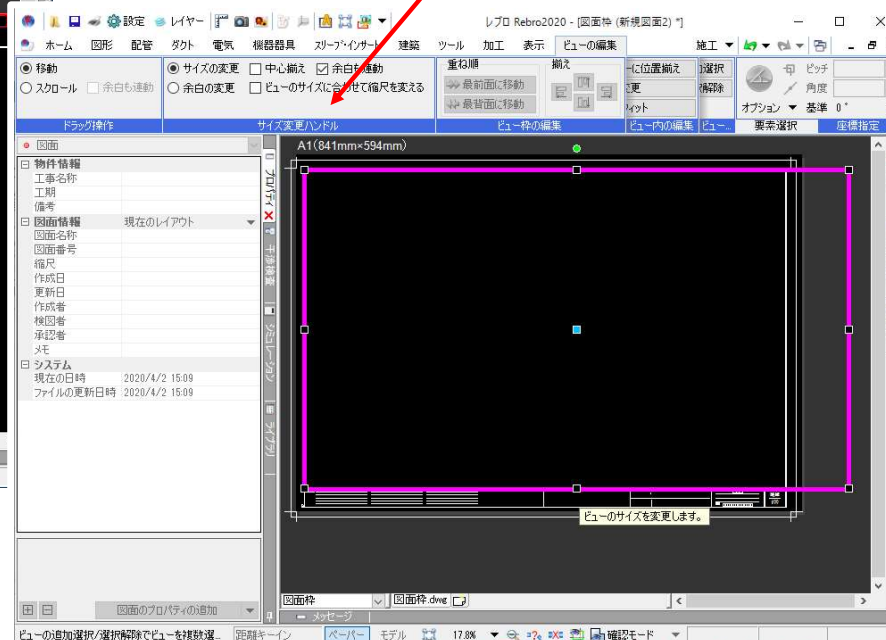
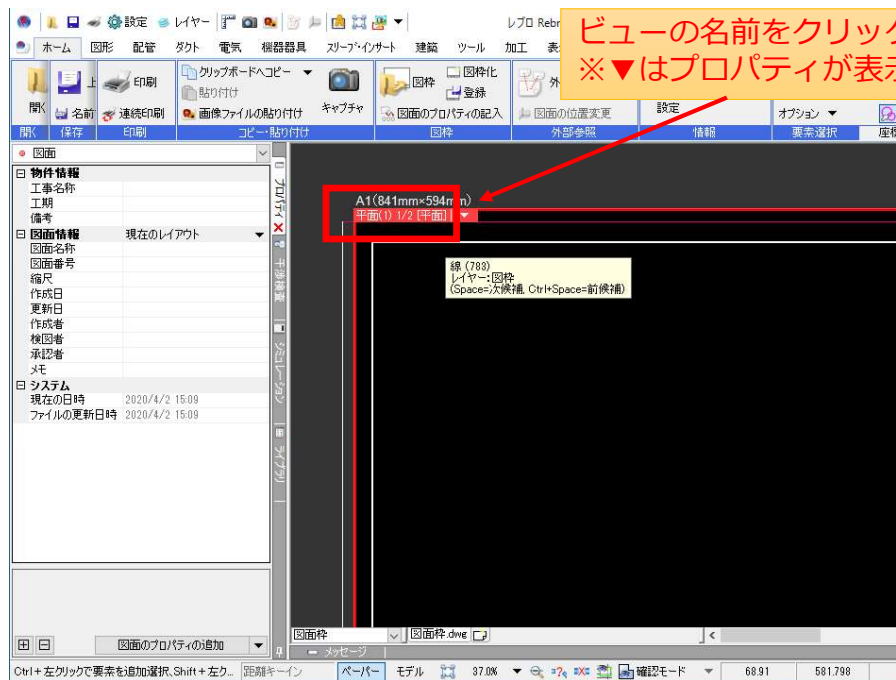
## 図枠内に表示位置を合わせる

## 図枠の設定

ビューの名前(下部赤枠)をクリックすると表示  
サイズを範囲を変更できます。

ビューの名前をクリック  
※▼はプロパティが表示されます

色がピンク枠に変更になり  
各辺中央の黒■にカーソルを  
合わせると範囲を変更できる

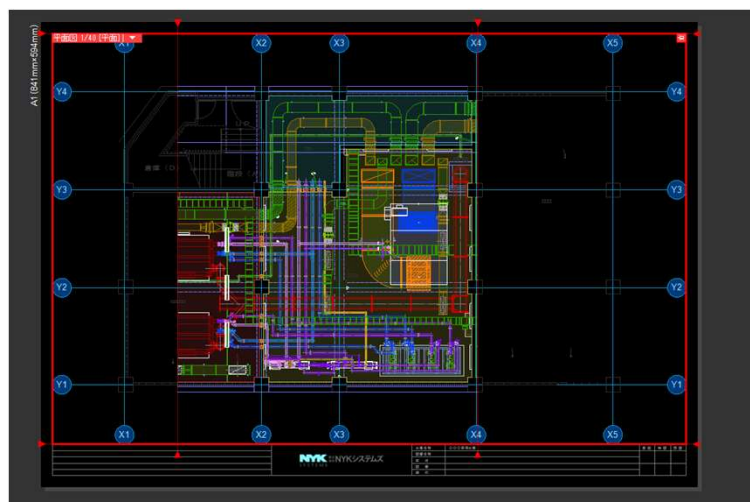
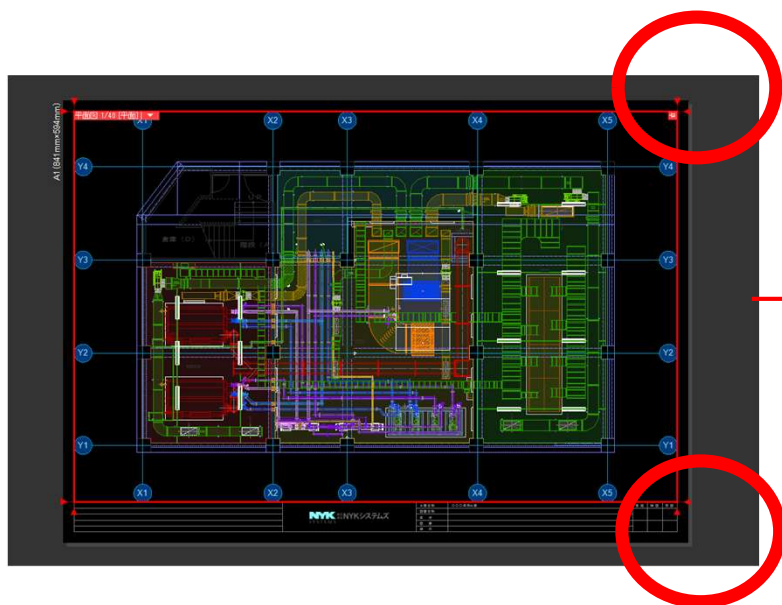


Rebro

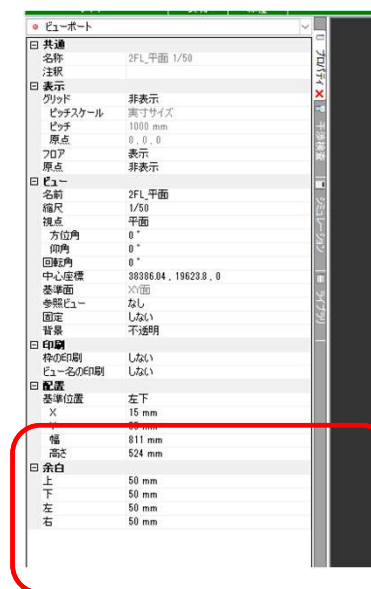
## 図面に余白を作る

ハンドルを操作して余白を作成できます。

ハンドルをクリック



## 図枠の設定



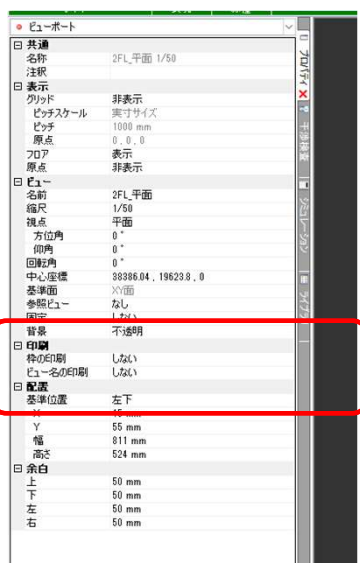
ビューのプロパティからでも設定できます



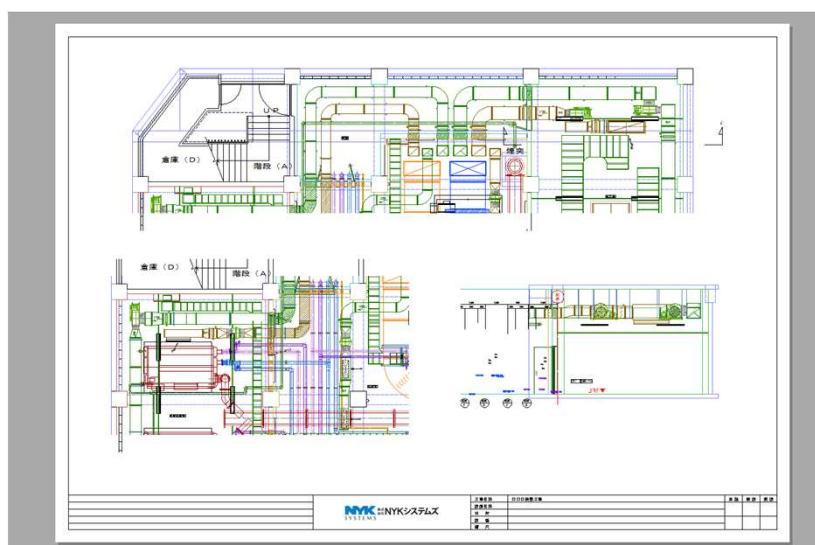
Rebro

## レイアウト枠を印刷する

プロパティの枠の印刷を【する／しない】を設定します。

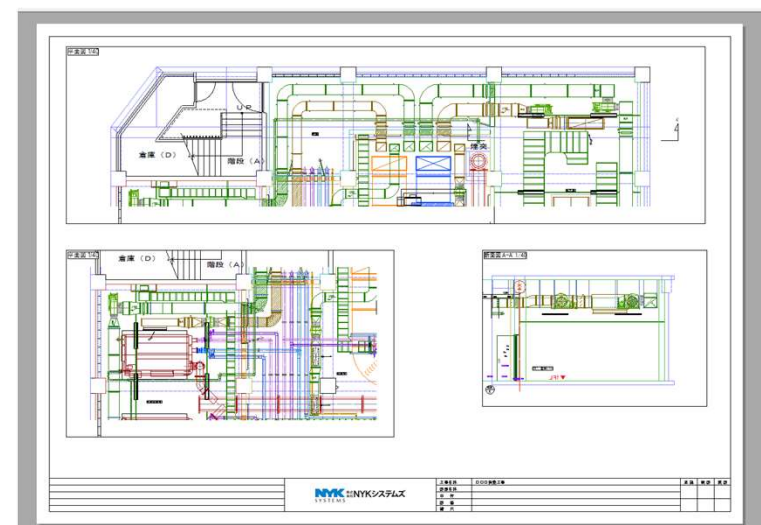


しない



## 図枠の設定

する



ビュー名の印刷【する／しない】を設定できます。

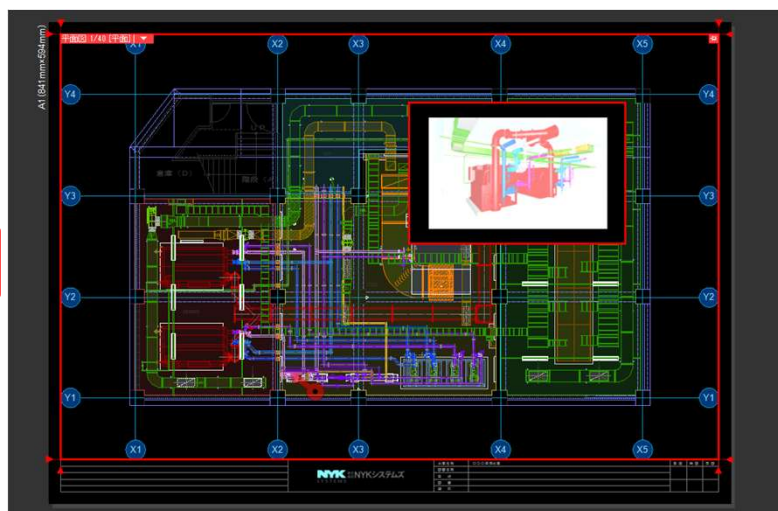
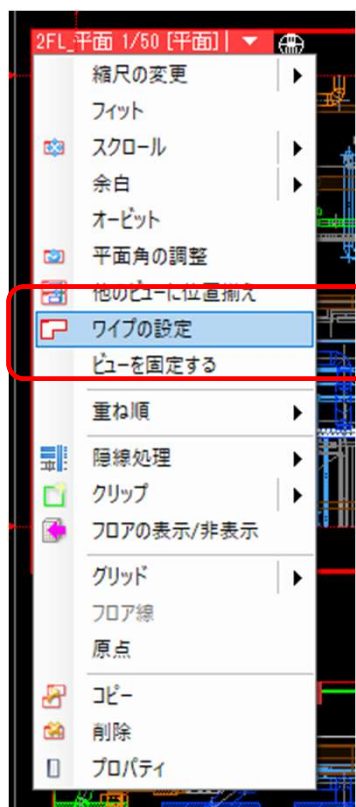


Rebro



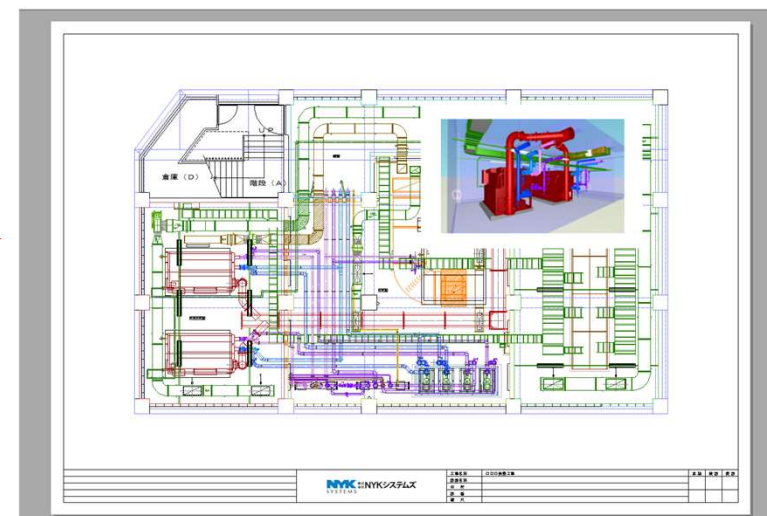
## ビューにワイプを設定する

ビューのプロパティから【ワイプの設定】を選択します



ワイプ位置を決めて  
オブジェクトを貼り付ける

## 図枠の設定



印刷プレビューで確認する



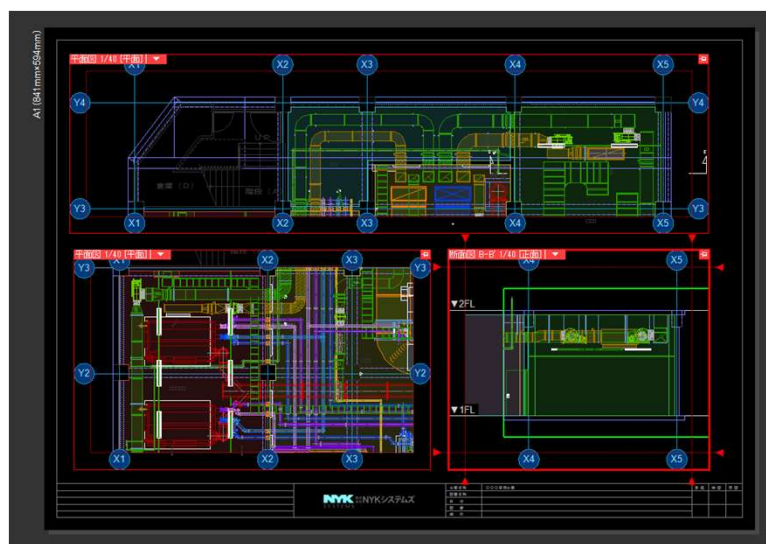
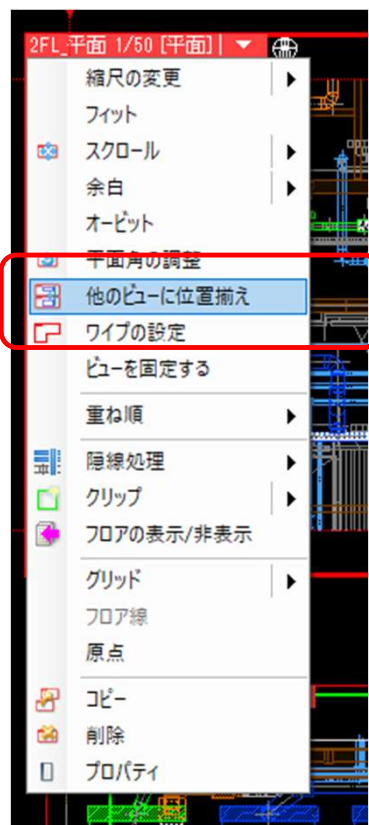
Rebro



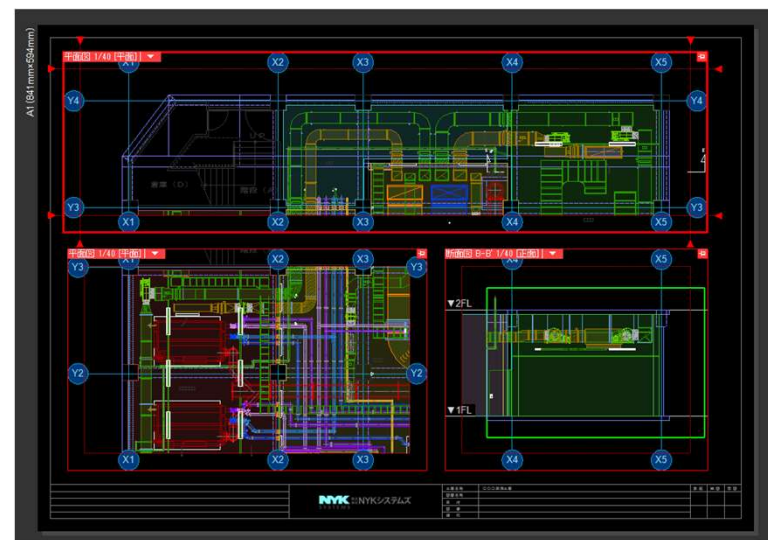
## ビューの通り芯の位置をそろえる

## 図枠の設定

ビューのプロパティから【他のビューに位置揃え】を選択します。



上下図面の位置がそろっていない



上下図面の位置をそろえる



Rebro

## フロアラインを表示 & 印刷する

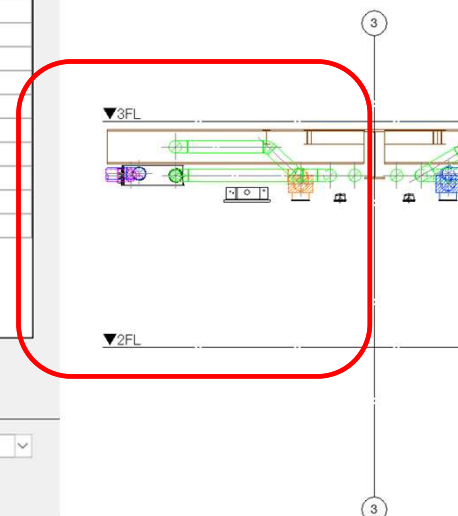
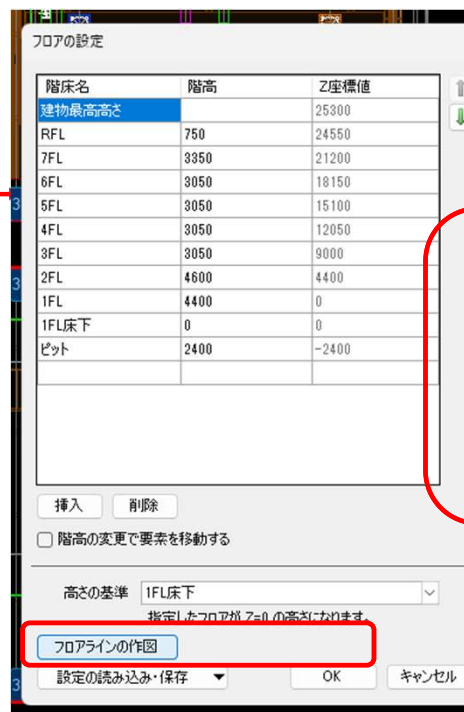
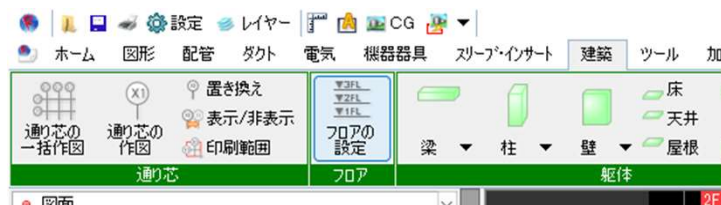
フロアラインは一括で作図できます。

印刷プレビュー

レイアウト画面で見える (▼2FL、▼3FL) は  
そのままと印刷されない

## 図枠の設定

建築タブ-フロア設定-フロアラインの作図から一括表示できます



Rebro

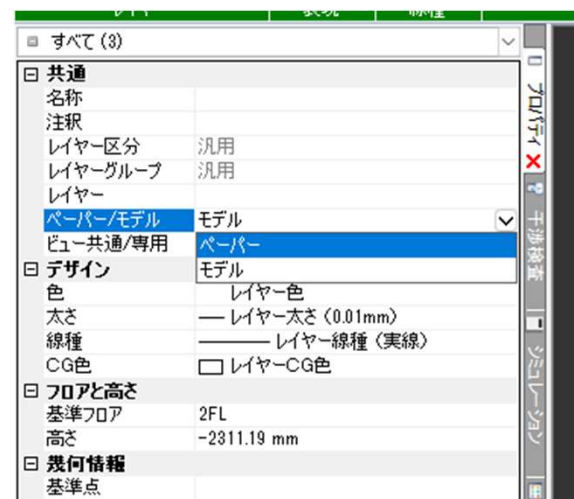
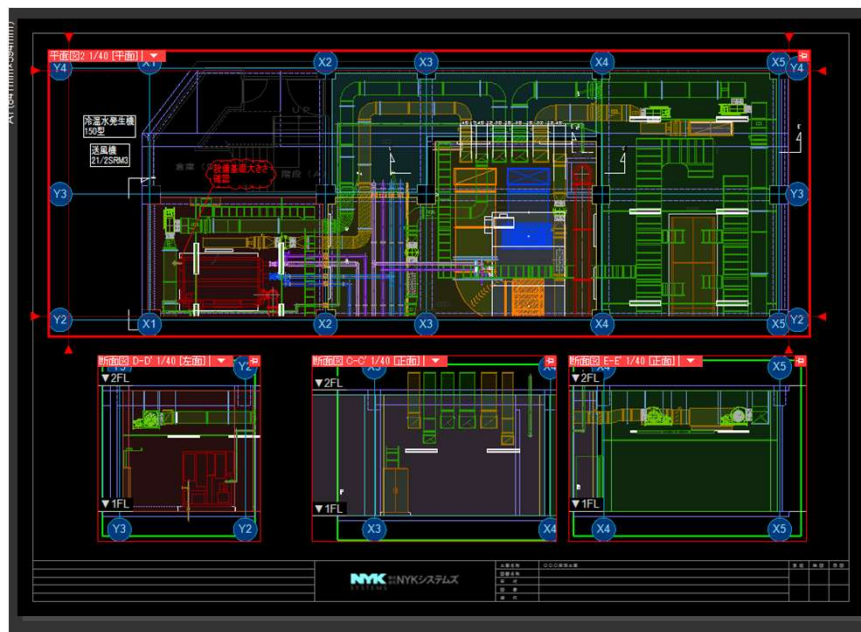
## 3Dのレイアウト空間で2Dオブジェクト移動させる①

ペーパー空間の活用

オブジェクトをいったんペーパー化して移動→モデル化します。

編集したい文字を  
ペーパー化→移動→モデル化

プロパティで【モデル・ペーパー】を切り替える



注意：縮尺は複写元となります



Rebro

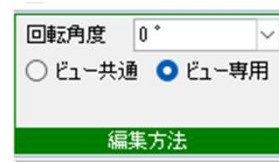
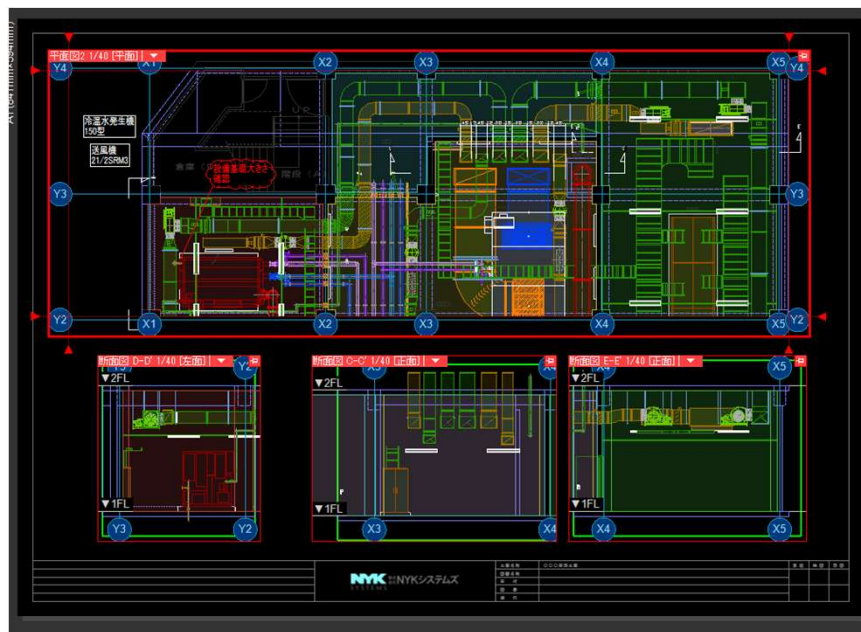
## 3Dのレイアウト空間で2Dオブジェクト移動させる②

ペーパ空間の活用

図形タブ→断面に展開コマンドで移動できます。

編集したい文字を選択し【断面に展開】コマンドで移動する

図形タブ-汎用図形-【断面に展開】



←ビュー専用で編集すると他レイアウトに表示されません



注意：縮尺は維持されます。



Rebro

END



Rebro